

## 平成29年度第2回新発田市子ども・子育て会議 会議録

会 議 名	平成29年度第2回新発田市子ども・子育て会議
開 催 日 時	平成30年2月20日（火）午後2時00分～3時50分
開 催 場 所	新発田市役所5階 501・502会議室
議 事	1. 平成30年度新発田市子ども・子育て支援事業計画「第4章施策の展開」（案）について 2. 平成30年度新発田市子ども・子育て支援事業計画「第5章幼児期の教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業」（案）について 3. その他
出 席 者	<b>【委員】</b> 金山会長、木村副会長、松田委員、清田委員、佐藤委員、神田委員、阿部委員、皆川委員、平野委員、小林委員、藤田委員、田村委員、青木委員、中山委員 <b>【説明課】</b> （健康推進課）阿部課長、（青少年健全育成センター）久住所長、（学校教育課）萩野課長、（地域安全課）増子課長補佐、（人権啓発課）宮下課長、（社会福祉課）松田課長補佐 <b>【事務局】</b> （こども課）櫻井課長、佐久間課長補佐、高山係長、渡辺係長、渋谷係長
欠 席 者	大堀委員、斎藤委員、加藤委員
公開・非公開の別	公開
傍聴人の数	3人
配 布 資 料	①平成29年度第2回新発田市子ども・子育て会議次第 ②新発田市子ども・子育て会議席次表 ③新発田市子ども・子育て会議委員名簿 ④議題（1）平成30年度新発田市子ども・子育て支援事業計画「第4章施策の展開」（案）について（資料1） ⑤新発田市子ども・子育て支援事業計画「第5章幼児期の教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業」（P68～P74）差替え（参考資料） ⑥議題（2）平成30年度新発田市子ども・子育て支援事業計画「第5章幼児期の教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業」（案）について（資料2）
〈会議経過〉 開会	
委嘱状交付	

市長挨拶	
市長（代読）	<p>開会にあたり、一言ご挨拶申し上げます。</p> <p>このたびは、「新発田市子ども・子育て会議」の委員をお引き受けいただき、心から御礼申し上げます。</p> <p>任期期間の平成31年度には、「新発田市子ども・子育て支援事業計画」の改正に向けた策定を計画しており、それぞれのお立場からのご意見を新たな計画に反映いただけるものと期待しているところでございます。</p> <p>さて、当市では、「住みよいまち日本一 健康田園文化都市 しばた」の実現を目指し、「少子化対策」を、時代を切り開く重要な3つの視点の一つと位置付け、常にトップランナーを意識して走ってまいりました。特に、これからの新発田を支える若手世代から「子育てするならやっぱり新発田」と選ばれるまちを目指して、手を変え、品を変えて、新たな子育てメニューを打ち出し、子育て支援を進めているところでございます。</p> <p>お陰様で、これまでの取り組みが功を奏し、念願の年度途中待機児童を解消することができました。また、他市からの転入の増加や、第3子以降出生割合の急増など、着実に子育て支援の成果が認められております。</p> <p>この機を捉えて、未来に向けたまちづくりの主役となる、子ども達の健やかな成長のため、これまで以上に新発田ならではの子育て支援を進めてまいりたいと考えておりますので、委員の皆様方から忌憚のないご意見をいただけますようお願い申し上げます、挨拶といたします。</p>
委員自己紹介	
会長、副会長の選出	
事務局	<p>新発田市子ども・子育て会議条例第4条第1項の規定、「子ども・子育て会議に会長及び副会長各1人を置き、それぞれ委員の互選により定める」に従い、委員の互選により会長及び副会長を選出いただく。</p> <p>最初に、会長の選出をお願いしたい。</p>
佐藤委員	<p>前回まで会長を引き受けて活躍いただいた、金山委員をお願いできればと思うが、いかがか。</p>
事務局	<p>佐藤委員から金山委員という推薦があった。異議が無い場合は拍手をお願いしたい。</p> <p>（拍手）</p> <p>異議がないようなので、会長は金山委員をお願いしたいと思う。</p> <p>次に、副会長の選出をお願いしたい。</p>
佐藤委員	<p>こちらも前回から引き続き、木村委員をお願いしたいと思うが、いかがか。</p>

事務局	<p>佐藤委員から木村委員という推薦があった。異議がない場合は拍手をお願いしたい。</p> <p>(拍手)</p> <p>副会長は木村委員にお願いする。</p>
会長あいさつ	
議事1 平成30年度新発田市子ども・子育て支援事業計画「第4章施策の展開」(案)について	
各説明課	議事1「平成30年度新発田市子ども・子育て支援事業計画「第4章施策の展開」(案)について」を各々説明
松田委員	<p>13ページ、99番「企業への啓発と雇用主を対象とした研修会の開催依頼」について。平成の合併で紫雲寺、豊浦、加治川と合併したが、商工会は合併していない。ハローワーク新発田と新発田商工会議所に働きかけているようだが、紫雲寺商工会などにも働きかけているのか。</p>
人権啓発課	<p>ハローワーク新発田は胎内市、阿賀野市や聖籠町も管轄で、管内には豊浦、加治川、中条、水原などの商工会があるが、会議所は新発田商工会議所のみで、働きかけを行っている。本事業の開始は2006年で、既に豊浦町、紫雲寺、加治川と合併していたと思う。その時点で商工会へ働きかけを行わなかったため、今はこういう状況になっている。</p> <p>自治体レベルでは、今年度から胎内市も加わり、共催している。広げる努力をしていきたいと考えている。</p>
松田委員	決めつけしないで皆さんにお知らせした方が、より良くなると思う。
人権啓発課	<p>ハローワーク新発田から各企業の方に、案内が行っていると思う。ただし、ハローワークがどの程度まで案内しているか分からない。</p> <p>この研修会も、今年度100を超える企業が参加しており、聖籠町や胎内市の方も来ている。商工会は入っておらず個々のところは分からないが、ハローワークはかなり広範囲に働きかけていると認識している。</p>
松田委員	ハローワークは申し込む人だけが会員なので、社員が余っているところはお願ひしないと思う。そのため、ぜひ紫雲寺商工会なども行かれた方が良いと思う。
青木委員	<p>17ページ、134番「児童クラブでの障がい児受入れ」について。児童指導員が少ない中で、結構たくさんの方を受け入れていただいていると思う。入会基準はどのようなものか、お聞きしたい。</p>

<p>青少年健全 育成センター</p>	<p>可能な限り入会していただく。指導員も障がい児対応の加配をしている。ただし、実際に親御さんと面談をして、他の児童に迷惑をかけるようであれば、考えていかなければならない。今は約50名の特別支援の方がいる。普段はちゃんと薬を飲み、元気で普通の児童だが、時折薬を飲まなかったり、気持ちが高揚する時もあるため、そういった時には専用室で指導員が直接対応している。</p>
<p>青木委員</p>	<p>もう一つ質問。保育士や介助員の先生方への研修はあるようだが、児童クラブの指導員への研修などはあるのか。</p>
<p>青少年健全 育成センター</p>	<p>児童クラブについては、最初は無資格でもなれる。ただし、県の方で計画的に、4日間の児童クラブの指導員の研修をしている。今、全体の約70%の指導員がその資格を取得している。</p>
<p>青木委員</p>	<p>先ほどの指摘のとおり指導員の数は確かに少ないが、随時ハローワーク、指導員同士などでお願いをしている。指導員の数については、主任児童員が19名、通常業務の指導員が32名、障がい児対応者が15名、パートが5名で、合計すると約75名の指導員がいる。ただし、夏休みの利用者が非常に多いため、その時は学校の介助員から応援をいただいている。</p>
<p>青木委員</p>	<p>障がいのあるお子さんの学童のような福祉サービスが市内に5か所くらいあるが、通常通学している学区から全然違う学区にみんなが集まって、放課後を過ごしている。福祉サービスを調整している者なので、そちらに案内してしまうが、本当は自分の学校のお友達と遊べたら良いだろうなどと思いながら福祉サービスの調整をしている子もいるため、このような質問をさせていただいた。</p>
<p>藤田委員</p>	<p>2ページ、12番「保育園開放事業」について。平成30年度からは利用料が無償になるという。今までは保険料相当の金額をいただいていたが、とっても良いことだと思う。事務方も煩雑でなくて良いと思う。その保険料等は市の方で負担するという形になるのか。</p>
<p>こども課</p>	<p>12番「保育園開放事業」に加えて、1ページ、10番「地域子育て支援センター」についても、これまで保険料分の利用料を保護者の皆様からいただいていたが、来年度から利用料を無償とさせていただきたい。これまでと変わらず、保険料は市の負担でかけさせていただきたいと考えている。</p>
<p>佐藤委員</p>	<p>児童クラブの時間外について。現行で最終時間が午後6時半である。周りのお母さん方からの声を集約すると、遠方の会社勤めの方など、会社が終わって後片付けをして向かうと、6時半をちょっと越してしまうことがある。6時半という期限は、もう少し延長するとか、あるいは何か違う形で、ということにはならないものか。</p>
<p>青少年健全</p>	<p>平日は午後2時から午後6時半で、交代制でやっている。一時期、特別な配慮で6時45分</p>

育成センター	<p>まで実施した時もあったが、指導員を募集したがハローワークでもなかなか確保できなかった。その原因を聞くと、指導員も家庭を持っているため、6時半とプラス15分とで全然違ってくる。本当に利用者の方には申し訳ない。原則6時半だが、特別な事情があり仕事で遅れる時もあると思う。ご連絡いただいた時には、指導員がちゃんと責任を持ってお待ちするので、ご理解の方をよろしくお願いしたい。</p>
木村副会長	<p>改めて計画を拝見し、134もの施策があり、しかも7つの課に渡っており、本当に色々な観点から、子育てを支援するためのサポートをしていただいていると強く感じた。</p> <p>本計画を立てる際、市内の推進協議会のようなもので、みんなで協力して計画を立てていったと思う。その後、本計画の実施や推進状況にあたっては、市役所内で情報共有を図るための推進委員会のようなものを定期的開催しているのか。例えば何か問題や課題が発生した時は、一つの課だけでは解決しづらいものもあると思う。その場合の情報共有の体制、また、課題解決に向けた方策の立て方を伺えればと思う。</p>
こども課	<p>本計画の推進体制として、庁内では、新発田市子ども・子育て庁内推進委員会がある。計画書の84ページに記載がある。本日は主な事業を所管している課が説明に来ているが、それ以外に、多少関わりは薄いですが、計画策定はこちらに記載の関係課があたっている。</p> <p>また、本計画の推進にあたって、この推進委員会で内容確認をし、確認されたことを子ども・子育て会議でお諮りする。そしてまた、ここで確認させていただいたことを議会で上程していく、という流れで進めている。</p> <p>案件によって、推進委員会を開くまでもなく2、3の関係課だけで解決可能なものについては、随時打ち合わせを行いながら取り組みを進めている状況である。</p>
金山会長	<p>それでは今回の計画について、皆様ご了承ということによろしいか。</p> <p>(委員の同意)</p> <p>今ほど出された意見は、ぜひ今後の事業に反映していただきたい。</p>
議事2	<p>平成30年度新発田市子ども・子育て支援事業計画「第5章幼児期の教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業」(案)について</p>
こども課	<p>議事2「平成30年度新発田市子ども・子育て支援事業計画「第5章幼児期の教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業」(案)について」を説明</p>
神田委員	<p>資料2の1枚目の「2.平成30年度の状況」について。最新の需給状況というのは、いつの段階のものなのか。</p>
こども課	<p>昨年10月に一斉の入園申込みを受け、今年の4月から来年度いっぱいまでの子どもたちを計算したものになる。最新とは言いつつ、この後毎月のように数名ずつ入園が出てくるため、今後50名くらいの入園もあると見込んだうえで足した数字になっている。基本的には来年度</p>

<p>神田委員</p>	<p>いっぱいを今日現在で見込んだ形で、最新とご理解いただきたい。</p> <p>来春から入園を希望して申し込まれた人数で、150人の定員不足と理解していた。色々な手立てを投じていただき、平成30年度中に約80名の園の定員増加が見込めるという話だが、いじみの福祉会の未満児専用私立保育園の新設までの間は、いわゆる保育園が無くてお困りの方は依然としてお困りの状態が続くということなのか。素朴な疑問だが、教えていただければと思う。</p>
<p>こども課</p>	<p>例年の状況等を踏まえ、各私立保育園、認定こども園、公立保育園と協議し、何とか待機児童を出さないように、エンジェル kids ができるまで凌いでいきたいと考えている。</p>
<p>こども課</p>	<p>補足も含めて、答弁したい。4月1日時点でこのような平成30年度の具体的な方策をやったとしても、間に合わないのではというご心配・ご質問だと思う。それについては、4月1日を見込んで、今年度中、既に対応を取らせていただいている。</p> <p>1点目は、老朽化したルンビニ保育園の建て替えを行っており、つい先ごろ竣工式を終えたところであり、建て替えによる定員拡大を図った。</p> <p>2点目は、これまで3歳未満児専用施設として進めていただいていた2施設について、今年度は年齢幅を5歳まで拡大していただいている。拡大をしてすぐに3歳以上の児童が入園するとは限らないため、そちらのスペースを使った3歳未満児の受け入れも進めていただいている。そういったあらゆる対策でもって、4月1日で何とか待機児童ゼロを達成できる目処が立っている。</p> <p>加えて、4月1日と10月1日が国から待機児童数が公開される2時点だが、平成30年度の対策は、何とかこの2時点のゼロを守っていきたいということで、取り組みを並行して進めていく。</p>
<p>金山会長</p>	<p>他に質疑がないため、「平成30年度新発田市子ども・子育て支援事業計画「第5章幼児期の教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業」(案)」について、ご了承される方は挙手を願う。</p> <p>(挙手の人数を確認)</p> <p>出席委員全員の挙手であったため、「平成30年度新発田市子ども・子育て支援事業計画「第5章幼児期の教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業」(案)」については原案どおり承認。</p>
<p><b>議事3 その他</b></p>	
<p>こども課</p>	<p>「新発田市子ども・子育て支援事業計画」の改正について。</p> <p>現在の「子ども・子育て支援事業計画」は、平成31年度までの計画であるため、次期計画を策定するにあたり、平成30年度に子育ての状況や生活の実態を把握するための「ニーズ調</p>

	<p>査」を実施したい。その結果を踏まえ、翌31年度には、「子ども・子育て支援事業計画」の策定をする予定としている。</p> <p>委員の皆様方には、年度明けに、ニーズ調査の調査項目について、書面にてご意見を頂戴したいと考えているため、ご協力のほどよろしくお願いしたい。</p>
金山会長	<p>質問が無いため、「新発田市子ども・子育て支援事業計画の改正」について、ご了承される方は挙手を願う。</p> <p>(挙手の人数を確認)</p> <p>出席委員全員の挙手であったため、「新発田市子ども・子育て支援事業計画の改正」については原案どおり承認。</p>
その他	
事務局	<p>事務局から連絡。</p> <p>会議録は、作成後、出席者の皆様に確認をお願いし、概要を市ホームページに掲載する。</p> <p>次回の会議は7月下旬を予定しており、改めて事務局から案内する。</p>
閉会	